

夜間総合学科

(夜間部・2年制)

シラバス

全設置授業科目数	46	うち実務教員授業科目総数	38
全設置授業時間数	960	うち実務教員授業時間数	717
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			6
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			144

1 年次 夜間総合学科 【1 E】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
専門科目	電 気 の 基 礎	15		1	末 永	○	15			講義
	ス テ ー ジ 制 作 論		15	1	砂 川	○	15	☆	15	講義
	音 響 概 論		15	1	鈴 木 (久)	○	15	☆	15	講義
	音 響 技 術 用 語	15		1	楠 元	○	15			講義
	電 気 音 声 信 号		15	1	照 井	○	15			講義
	企 画 立 案		15	1	見 上	○	15			講義
	演 習 音 響 工 作 実 技	15		1	高 橋 (洸)	○	15			演習
	音 響 機 器	15		1	照 井	○	15			講義
	演 習 ス タ ジ オ ワ ー ク		15	2	楠 元	○	30	☆	30	演習
	機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン	15	15	1	西 尾 ・ 菅 原	○	30			演習
	演 習 舞 台 制 作 の 基 礎		15	1	砂 川	○	15			演習
	O n g e i 実 技 判 定	15	18	2	菅 原 ・ 波 多 腰	○	36			演習
	演 習 ラ イ ブ 音 響 実 技		18	1	高 橋 (宏)	○	18	☆	18	演習
	デ ジ タ ル メ デ ィ ア		15	1	由 雄	○	15			講義
	演 習 ノ ン リ ニ ア 編 集 I		21	2	波 多 腰	○	30			演習
	演 習 映 像 音 響 試 験 講 座 I		24	1	永 谷	○	24			講義
	演 習 舞 台 照 明 技 法		15	1	赤 本	○	15			演習
	演 習 収 音 技 法 I		21	1	塩 田	○	21			演習
	実 習 音 響 構 成		24	1	波 多 腰 ほ か	○	24			実習
	演 習 映 像 研 究	15		1	見 上	○	15			演習
	演 習 動 画 音 声 制 作 概 論		15	1	染 谷	○	15			演習
	聴 能 形 成	9	6	1	見 上	○	15			講義
	演 習 S R (P A)	15		1	見 上	○	15			演習
	P A 音 響 シ ス テ ム	15		1	浪 花	○	15			講義
	ア ニ メ ー シ ョ ン 研 究		15	1	桑 原 ほ か	○	15			講義
総合・その他	特 別 講 義									講義
	研 修 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン				各 担 当					講義
	企 業 研 究	6			進 路 指 導 部					講義
	ワ ー ク ガ イ ダ ン ス		6		西 尾					講義
	ガ イ ダ ン ス				西 尾					講義
	合 計	240	240	28			468		78	

2年次 夜間総合学科 【2E】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
専門科目	演 習 映 像 音 響 試 験 講 座 II	15		1	永 谷	○	15			演習
	演 習 レ コ ー デ ィ ン グ シ ス テ ム	15		1	塩 澤	○	15			演習
	演 習 収 音 技 法 II	15		1	藤 林	○	15			演習
	演 習 ミ ッ ク ス ダ ウ ン		15	1	波 多 腰	○	15			演習
	マ ス タ リ ン グ 概 論	15		1	森 崎	○	15			演習
	立 体 音 響 入 門		15	1	中 原 ・ 染 谷	○	15			講義
	演 習 ノ ン リ ニ ア 編 集 II	30		2	永谷・波多腰 高橋(喜)	○	30	☆	30	演習
	実 習 動 画 制 作	36		2	水 野	○	36	☆	36	実習
	演 習 ス テ ー ジ 制 作	24		1	吉 井 ・ 杉 浦	○	24			演習
	演 習 イ ベ ン ト 企 画 制 作	24		1	小 崎	○	24			演習
	演 習 M A	15		1	内 村	○	15			演習
	演 習 S R 実 技	30		2	高 橋 (宏)	○	30			演習
	演 習 ビ ジ ネ ス 実 務	15		1	小 室	○	15			演習
総合・その他	卒 業 制 作	6	210	14	西 尾					実習
	就 活 ワ ー ク ガ イ ダ ン ス	随時			進 路 指 導 部					講義
	ガ イ ダ ン ス				西 尾					講義
	合 計	240	240	30		/	249	/	66	

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	電気の基礎				授業方法	講義	遠隔
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	末永信一		担当教員 実務経験	SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。（一社）日本オーディオ協会専務理事			
授業概要	電気がある時代について知り、直流・交流を理解し、絶縁体・誘電体について学ぶ。						
到達目標	現代社会に於ける電気についてしっかりと認識し、半導体・アナログ・デジタルを理解し、映像・音声にも大いに関心を持たせる。						
授業計画 学習内容	●電気がある時代 ●DC「直流」 ●AC「交流」 ●絶縁体・誘電体 ●半導体 ●アナログ・デジタル ●映像・音声						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	音響概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	鈴木久晴		担当教員 実務経験	エヴィクサー(株)取締役 研究開発事業部長として長年オーディオ技術業務に携わる。芸術工学博士。			
授業概要	音と音波について良く知り、大小、高低。音色について行解を深め、その伝搬を考察しする。						
到達目標	音とは何かの基本的な部分を理解し、音響を測定し、空間音響について認識する。						
授業計画 学習内容	● 音と音波 ● 音の大きさ、高さ、音色 ● 音の伝搬 ●音響測定 ●空間音響						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	音響技術用語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～ 2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。						
到達目標	専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。						
授業計画 学習内容	・マイクロホンと收音技術に関する用語 ・ミキシングルームで日常使っている技術用語 ・マルチチャンネル録音に関する用語 ・サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語 ・デジタル技術に関連する基礎知識と用語						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	電気音声信号				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	電気、回路、機器についての学術的知識を深める。						
到達目標	電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ アース/接地 ・ 補助記号 ・ 平衡と不平衡 ・ インピーダンス ・ 電気部品、パーツ ・ 音響回路 ・ ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比） ・ 各種レベルメーター						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 音響工作実技				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	高橋 洸		担当教員 実務経験	株式会社スタジオイクイメントにて、 スタジオ設計施工に従事。			
授業概要	ユニバーサル基盤、メッキ線、ハンダ、はんだごて、ケーブル、 XLR(キャノン)コネクターを使用し、その仕組みを理解し、工作を体験する。						
到達目標	音響業界の様々な場面で、音響機器のメンテナンスに対応出来る 基礎的能力を養う。						
授業計画 学習内容	●ユニバーサル基盤、メッキ線を使用し、ハンダ、ハンダごてにて 基本練習をする ●ケーブル、XLR(キャノン)コネクター、オス・メスについて理解する ●ケーブル、XLRコネクターを工作にて製作する						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	音響機器				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	音響業務で使用する機材について学ぶ。						
到達目標	音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。						
授業計画 学習内容	・スピーカーシステム ・ミキシングコンソール ・マイクロホン ・パワーアンプ それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 スタジオワーク				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	30	単位	2
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	本館9Fスタジオを使って、録音のための機器操作について準備から収録終了までの工程を学ぶ。						
到達目標	学生だけで機材準備、セッティング、回線チェック、ストレートトークの録音ができる。						
授業計画 学習内容	・SSL SL-4000Gのブロックダイアグラムと操作方法との関連を理解する ・モニター室及びスタジオ内のセッティングと後片付けでの注意点を会得する ・マイクロホンの種類と基本的な使い方 ・マイク感度の違い、モニターレベル、録音レベルの相関関係を知る ・ディレクター役、エンジニア役を担当して体験と理解をする						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	機器オペレーション				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	30	単位	1
担当教員	菅原直人 西尾嘉高		担当教員 実務経験	レコーディングエンジニア。(株)オルフェウス レコーズ・レコーディングスタジオオルフェウス スチーフエンジニア。(菅原)			
授業概要	学内の施設、教室、実習室、スタジオの場所と機能について知り、 機材の名称と使用方法を学ぶ。						
到達目標	基本的な施設、機材の仕組みを知り、音響技術の根本的な原理を身に付ける。						
授業計画 学習内容	●学内実習施設概要 (本館：音楽スタジオ実習室・ライブスタジオ実習室、メディアセンター：機器オペレーション実習室・映像撮影機器準備室・ノンリニア編集(PC)実習室、LiveQステージ実習室) ●機材を借りる、機材表の書き方 ●ケーブル、コネクタ、各種コネクタの違いと仕組み ●機材同士の結線 ●ミキサーの使い方 ●各種音響機器の仕組みと取り扱い						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 舞台制作の基礎				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	砂川幸子		担当教員 実務経験	長年演劇等の舞台制作の現場にて多くの作品を手掛ける。東宝(株)演出部。			
授業概要	スタッフ、舞台機構・音響・照明・美術について知り、企画を立て、役割を振り分け、発表する。						
到達目標	舞台用語を理解し、実際に企画・立案し、適材適所で役割を分担し、稽古し、発表することにより、皆で作り上げる喜びを知る。						
授業計画 学習内容	●舞台制作にかかわるスタッフ ●舞台制作の流れ(小屋入りまで・小屋入りから) ●舞台機構 ●企画 ●稽古 ●本番						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	Ongei実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	33	単位	2
担当教員	菅原直人 波多腰英靖		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画学習内容欄に記載			
授業概要	基礎的音響作業の習熟を図る						
到達目標	音響作業に共通する初歩的動作の習得 3級舞台機構調整技能士実技試験への準備						
授業計画 学習内容	ケーブル巻き(8の字)習得 マイクスタンドの実務的活用を習熟 音響機器の設置作業、接続作業の習熟 回線チェックの理解 回線チェックの習熟 担当教員の实務経験 菅原：レコーディングエンジニア。(株)オルフェウスレコーズ・レコーディングスタジオオルフェウスチーフエンジニア。 波多腰：2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技判定試験の60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ライブ音響実技				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	高橋宏幸		担当教員 実務経験	PAエンジニアとして(株)サウンドマン（現・(株)ミックスゾーン）勤務後、現在SRテックプランニング代表。			
授業概要	マイク、ミキサー、パワーアンプ、ケーブル、端子について知る。 運搬、設置、電源のON・OFF。回線表とプロットに沿った仕込みをする。						
到達目標	SR(PA)の意味を知り、何をする事なのかを理解する。 達成するための機器についての知識を深め、使用方法に習熟する。						
授業計画 学習内容	●SR(PA)とは ●システムの基礎 ●各種機器について ●その取扱い ●システムのセットアップ						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	デジタルメディア				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	由雄 淳一		担当教員 実務経験	元パイオニア（株）研究開発本部・研究企画部 副参事。			
授業概要	オーディオ信号のデジタル化、デジタルオーディオデータのフォーマットを 学び圧縮データとその応用を考察する						
到達目標	マルチチャンネル、オーディオインターフェース、ラウドネスを良く知り、 著作権と著作権保護技術について精通する。						
授業計画 学習内容	第1回 総論、オーディオ信号のデジタル化 第2回 デジタルオーディオデータのフォーマット 第3回 圧縮オーディオとその応用 第4回 (1)マルチチャンネル (2)オーディオインターフェース 第5回 (1)ラウドネス (2)著作権と著作権保護技術						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与す る。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ノンリニア編集Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	30	単位	2
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る。						
到達目標	コンピューター環境でのデータ管理習熟 ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得						
授業計画 学習内容	Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習 ProToolsを用いて演習課題へ取り組む ・ProToolsData構築 ・ProToolsでの録音作業 ・ProToolsでの編集作業 ・ProToolsを用いての課題提出						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	映像音響試験講座Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンド・プロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	JPPA映像音響処理技術者資格認定試験、試験対策。						
到達目標	JPPA映像音響処理技術者資格認定試験合格を目標とする。						
授業計画 学習内容	・ テレビ放送の歴史/映像制作の流れ ・ テレビモニターの画像表示の仕組み ・ 色とはなにか？～光と色の関係～ ・ カメラについて ・ 映像信号について ・ 映像端子の種類 ・ 映像編集とは？ ・ 映像の効果/合成の種類 ・ タイムコード						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 舞台照明技法				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	赤本龍太		担当教員 実務経験	ライブハウスの照明技術を経て、長年に渡り音楽ライブや演劇の照明デザイナーとして活躍。			
授業概要	舞台照明、ライブ照明について、機材と用法を解説し、システムと卓の使い方、オペの方法について理解させ、実際にオペをさせる。						
到達目標	各機材と灯体の効果をよく理解し、その使用法に習熟し、実際に曲、シチュエーションに併せてオペレーション出来るようにする。						
授業計画 学習内容	1.システムについて 2.卓の使い方、オペのやり方 3.その他専門知識について 4.実技練習 5.実技試験						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	実習 音響構成				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。			
授業概要	サウンドドラマ作品制作作業を通じて、音を聞く、收音する、記録する、編集するといった基礎的な音響作業の習熟を図る						
到達目標	フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得 ノンリニア編集による作品作成過程の習得						
授業計画 学習内容	サウンドドラマ素材のためのロケ実習 ロケを通じた收音、録音作業習得 ・マイクロホン使用法 ・レコーダー使用法 ・ロケ実習 ProToolsを用いた音源制作作業 ・音源制作実習						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 映像研究				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作（見上）、レコーディングエンジニアとしてSony Music勤務後フリーランスで活躍（塩田）			
授業概要	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を学び、作品の鑑賞、分析を行う						
到達目標	音声ソフト、動画ソフトの制作手法を知り、鑑賞力を高める。						
授業計画 学習内容	1.音楽ソフトの制作工程 2.音楽ソフトの鑑賞と制作手法の分析 3.動画の単位 4.ショットの決定要素と名称及び心理的効果 5.モンタージュの基礎 6.動画作品における音の演出法 7.ドキュメンタリー作品をめぐる考察						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 動画音声制作概論				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	21	単位	1
担当教員	染谷和孝		担当教員 実務経験	サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。			
授業概要	サウンドデザインの起源を知り、クリティカルリスニングについて考察する。 現場でのサウンドデザイン・効果音制作を学び、フィルムスコアーとその役割についても考える。						
到達目標	そもそもサウンドデザインとは何かを考え、映像付随の音楽・音響について 新たな地平を見据えて行く。						
授業計画 学習内容	①サウンドデザインの起源とその意味 ②「クリティカルリスニング」からの見えてくるもの ③実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎① ④フィルムスコアーとその役割 ⑤実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎② ⑥Foley概要と制作方法の基礎						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	聴能形成				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	「聴能トレーニングCD」（キングレコード） の制作を指揮、発売			
授業概要	音を聴き分ける能力を様々なトレーニング音源の聴き取り演習と、それに関する音響学的な解説を行う						
到達目標	音響技術者。音響コンテンツクリエイターに必要な音の聴き分け能力と関連知識を身に付ける						
授業計画 学習内容	毎回、技術解説とともに、聴能トレーニング用音源を教室内で再生し、答え合わせを行う。 ・ピッチの弁別 ・周波数の識別 ・音圧の弁別 ・音色の弁別 ・リズムパターンの弁別 ・音程の弁別 ・読譜聴音 ・連音の記憶 など						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 SR (PA)				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	コンサートにおける音響プランナー／エンジニア経験。舞台機構調整技能1級技能士			
授業概要	SR入門の知識、技能を座学と演習で身につける						
到達目標	PAにおける音声信号の経路、主要音響機器の操作を身につけるとともに、安全に音響システムを組み上げたり、バラしたりできるようにする						
授業計画 学習内容	(1) 音声信号についての基礎知識 (2) 信号経路の理解 (3) 音響システムの設置とバラシ (4) 音響機器操作						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	PA音響システム				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	浪花克治		担当教員 実務経験	PAエンジニア。浪花千葉音響計画有限会社代表			
授業概要	マイク、音響調整卓、DSP(デジタル・シグナル・プロセッサ)、パワーアンプ、スピーカーそれぞれの役割りを知り、構成を考察する。						
到達目標	PAとSRについての違いを理解させ、各機器の特性を活かし、聴取者に心地良い音を届けるための音響機器に求められる性能を読み解く。						
授業計画 学習内容	●PA(SR)とは ●PA:音響システム・装置・機器と音響:室内のアコースティック ●スピーカー・空間(室内)・聴取者 ●より良い音のための性能とその意味 ●音響機器の性能とその読解法						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	特別講義				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数		単位	—
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内または学外より適宜講師を選定し講話をしていただく。						
到達目標	各講師の職歴・現場経験を踏まえた講話を聴き、卒業後(進路)への自己のイメージや適性について考えさせる。						
授業計画 学習内容	・音楽業界技術・制作職について ・放送業界技術・制作職について ・出演者（演奏者・俳優）の立場から見た制作現場 ・進路や就職について ・専門学校での学びへの取り組みについて ・目標設定						
成績評価 方法	—						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	研修オリエンテーション				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数		単位	—
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	教員からの講話とオリエンテーションによる新入生交流						
到達目標	専門学校で学ぶにあたっての心構え醸成と、新入生の交流促進						
授業計画 学習内容	1. 複数教員による講話 2. クラスでのオリエンテーション						
成績評価 方法	—						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	企業研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	6	単位	—
担当教員	進路指導部		担当教員 実務経験	—			
授業概要	本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。						
到達目標	本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。						
授業計画 学習内容	・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義 ・舞台技術制作関連企業関係者による講義 ・放送技術制作関連企業関係者による講義 ・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義 ・企業訪問 音楽録音スタジオ 映像編集スタジオ PA技術会社 劇場／ホール 等						
成績評価 方法	—						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	ワークガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	6	単位	—
担当教員	西尾嘉高		担当教員 実務経験	—			
授業概要	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
到達目標	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
授業計画 学習内容	1. コンサート／演劇音響 2. レコーディングエンジニア 3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA） 4. 映画音響 5. 動画撮影 6. 動画編集 7. 舞台照明／舞台装置 8. 制作／演出						
成績評価 方法	—						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数		単位	—
担当教員	西尾嘉高		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新入生オリエンテーション（シラバス／学則解説など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する詳細説明など						
成績評価 方法	—						

学科	夜間総合学科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。						
到達目標	検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。						
授業計画 学習内容	・ＴＶの原理／色彩と色温度。磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ ・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い ・ビデオ編集の実際（合成などを含めて） ・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習　レコーディングシステム				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	塩澤利安		担当教員 実務経験	日本コロンビア所属。幅広いジャンルのアーティストを担当し、日本プロ音楽録音賞を多数受賞。			
授業概要	短編のサウンドドラマを製作する。台本の精査、出演者のアテンド、キャスティング、収録時の演出を行い、音響効果収録、選曲も行なう。						
到達目標	台本から想起されるサウンドをトータルにイメージし、現実収録を行い、イメージの具現化が出来るようにする。						
授業計画 学習内容	●授業の概要説明 ●スタジオ説明等 ●音の収録 ●効果音等収録 ●Edit ●Mix ●合評会						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習　：　收音技法Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	藤林　繁		担当教員 実務経験	(株)アオイスタジオ勤務を経て独立。音響エンジニアとして多くの映画・ドラマ作品に関わる。日本映画・テレビ録音協会理事。			
授業概要	実例を交えた演習を通じて、 様々なシチュエーションでの音声収録や環境音の収録を体験し、 主にロケでの録音技師としての技術を習得、もしくは職業体験を目的とする。						
到達目標	スタジオ以外での録音作業を学生主体で実施可能な状態を目指す。						
授業計画 学習内容	収録(録音)技法演習として ・路上でのインタビュー録音 ・囲み取材での録音 ・ドラマ撮影時のセリフ録音 上記収録素材を用いてのノンリニア編集MA演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ミックスダウン				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中.1級舞台機構調整技能士。			
授業概要	音を商品とする際の最終工程“ミックスダウン”について、複数シチュエーションを通じて演習する。						
到達目標	商品クオリティの音作品制作を見込める技術習得を目指す。						
授業計画 学習内容	・サンプラーを用いたダビングミックス ・ドキュメント素材でのMAミックス ・ライブをシミュレートしてのメインミックスとモニターミックス ・商品化を目論んだ音楽ミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	マスタリング概論				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	森崎雅人		担当教員 実務経験	長年マスタリングエンジニアとして従事。 TinyVoice,Rproductionチーフエンジニア。			
授業概要	音の聴き方について改めて学びなおし、スピーカーのセッティングに精通し、イコライザー、コンプレッサー使用の実際になれ、総合的にマスタリングを体験する。						
到達目標	音響技術の専門家としての音の聴き方を覚え、そのために必要なスピーカーのセッティングを考察し、イコライザー、コンプレッサーを使用可能にする。						
授業計画 学習内容	1)座学 音の聴き方について 2)演習 スピーカーセッティング 3)演習 イコライザー 4)演習 コンプレッサー 5)演習 総合演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	立体音響入門				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	後期	授業時数	15	単位	1
担当教員	中原雅考 染谷和孝		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役(中原) サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)			
授業概要	音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ						
到達目標	オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した 3Dシーンベースのミックスを作る						
授業計画 学習内容	01. 音とは？ 02. 音波の基本要素 03. 音場を構成している物理現象 04. 音場再現（Ambisonics） 05. 音場再現実習 1：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識 06. 音場再現実習 2：FOAエンコーディング（Ambisonics録音） 07. 音場再現実習 3：FOAデコーディング（3Dミックス）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ノンリニア編集Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	30	単位	2
担当教員	永谷喜美雄 波多腰英靖 高橋喜朗		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る。						
到達目標	・ AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟 ・ ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟						
授業計画 学習内容	●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等 担当：永谷（(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。） ●Adobeフォトショップ・イラストレーターを用いた画像編集／ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等 担当：高橋（(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集に従事。） ●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等 担当：波多腰（2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験、実技試験、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	実習 動画制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	36	単位	2
担当教員	水野博章		担当教員 実務経験	CM制作会社を経てフリーランス。ミュージックビデオ、パッケージDVD、舞台DVD演出等のプロデュース/ディレクションを多数手がける。			
授業概要	映像制作の基本的な流れについて / 各種機材の取扱いについて グループ制作の運営・進行（企画→プリプロダクション→撮影→編集→完成）						
到達目標	企画に基づいて各班に分かれ、実戦的かつ計画的に映像作品を制作する。						
授業計画 学習内容	●授業概要 / 映像制作の流れ / 企画書の書き方 ●企画書チェック / 作品投票 → 制作企画の決定/シナリオの書き方 ●プリプロ1（予算・スケジュール・キャスティング・ロケ地・香盤表・撮影スケジュール） ●撮影・照明についての基礎レクチャー / 各種機材の説明・取り扱いについて ● プリプロ2（各種書類の確認・現場でのカット割り） ●本読み・衣裳合わせ / 機材チェック ●テスト撮影（撮影に際してのシミュレーション） ●撮影 ●撮影予備日 / 編集に向けた撮影素材のチェック ●オフライン編集 ●オフライン編集予備日/完成作品試写						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ステージ制作				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	吉井真		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。			
授業概要	演劇・ミュージカルなどの舞台制作の進め方を体験する						
到達目標	音楽や効果音の違いで舞台空間が違って見えるとか、音が舞台や物語に及ぼす影響を体感する						
授業計画 学習内容	・ 劇場の構造の説明 ・ 舞台用語の説明 ・ 舞台実習施設LiveQにて演習 演習内容： 同一シチュエーションでの音楽や効果音の違いを体験 選曲によるストーリーやイメージの違い 効果音による、季節、時間、場所、情景などの表現 体験で視聴した音の演出効果を考察						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 イベント企画制作				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	小崎弘輝		担当教員 実務経験	LiMu Create代表エンジニア・ディレクターとして音楽制作/配信/CDプレスに携わる。			
授業概要	ライブエンタテインメントについて理解を深め、それぞれの仕事を知り、技術、制作、ブッキングを通して実際に開催する。						
到達目標	舞台、技術、制作、ブッキング、各所連絡、総括について熟知し、実際にライブを開催するスキルを身に付ける。						
授業計画 学習内容	1.ライブエンタテインメント導入 2.ライブに関わる仕事1（舞台） 3.ライブに関わる仕事2（技術） 4.ライブ制作導入 5.ライブ制作1（イベント制作） 6.ライブ制作2（ブッキング） 7.ライブ制作3（各所連絡、総括） 8.ライブ実践準備 9.ライブ実践編1 10.ライブ実践編2 11.ライブ実践編 12.ライブ反省会						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 MA				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	15	単位	1
担当教員	内村和嗣		担当教員 実務経験	元NHKの音響技術者として勤務。スタジオ シ エロフルソ。			
授業概要	「MA」という仕事を知る。 MA作業を行う際の心構えを知る。						
到達目標	活きた音を扱う気持ちを携える。						
授業計画 学習内容	・ MAとは ・ MA作業の流れ ・ MA作業で使用する音響機器 ・ MAとサウンドデザイン ・ 映像作品での音の演出 ・ 活きた音とは						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	専門科目	
授業科目	演習 SR実技				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	30	単位	2
担当教員	高橋宏幸		担当教員 実務経験	PAエンジニアとして(株)サウンドマン（現・(株)ミックスゾーン）勤務後、現在SRテックプランニング代表。			
授業概要	コンソールの解説とオフラインソフトを用いたプランなどを行う。 個人PCを持参 出来る学生にはYAMAHA QL5 エディターソフトwin版をインストールさせ使いこなせるようにする。						
到達目標	オフラインソフトとコンソールを使用し、エディターソフトwin版を駆使し、PAの実習を出来るようにする。						
授業計画 学習内容	①教室および、使用機材QL5の説明（QL5使用） ②教室QL5のオフラインソフト解説とプランニングA（QL5使用PC使用） ③801実習室プランニングA演習（QL5使用） ④教室プランニングB（CQL5使用）（2種類のプラン作成） ⑤801実習室プランニングB演習（QL5使用） ⑥LiveQプランニングC演習（QL5使用） ⑦教室プランニングD（QL5使用） ⑧豊洲SRテック社プランニングD演習_1 ⑨豊洲SRテック社プランニングD演習_2 ⑩教室マルチ音源ミックス演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	卒業制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	216	単位	14
担当教員	西尾嘉高		担当教員 実務経験	—			
授業概要	これまで学んできた知識や技術を生かし、自信が主体となり作品を作り上げる。						
到達目標	作品を企画から制作し、完成させる。						
授業計画 学習内容	・ 作品の研究と分析 ・ 企画立案と企画書作成 ・ 構成・脚本・制作意図について ・ 作品制作、発表へ向けての準備 ・ YouTubeをプラットフォームとし、動画作品をオンライン発表						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	就職ワークガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	随時	単位	
担当教員	進路指導部		担当教員 実務経験	—			
授業概要	企業説明会を実施し、履歴書、面接、服装言葉遣い等の常識を身に付ける。						
到達目標	どの企業の面接に出しても恥ずかしくない立ち居振る舞いを身に付けさせる。						
授業計画 学習内容	各企業の説明会に参加し、企業の求める人材像を知る。 <企業説明会内容> ・分野や職種の説明 (音楽/ステージ/放送/映画等の業界の別、技術/制作など職種の別) ・企業業務概要や実績説明 ・企業人事担当者の説明 ・企業現場(専門職)担当者の説明 ・採用試験・面接についての説明 ・質疑応答 等						
成績評価 方法	—						

学科	夜間総合学科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数		単位	—
担当教員	西尾嘉高		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	—						